

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

~~~~~  
令和 7 年 10 月吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 208 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 11 月 28 日（金）14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：小規模建築と軽量土木構造物の木杭基礎～鉛直支持力の設計法について

講演者：（株）九州パイリング 森山 俊祐 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

戸建住宅や集合住宅など、鉛直荷重を主体とする小規模建築物に対する木杭を用いた地盤補強の設計・施工の技術を培ってきてている。ボックスカルバートを始めとする軽量土木構造物への適用が求められる機会も多くなってきてている。軟弱地盤では長尺杭を必要とする場合があり、施工効率や供給のしやすさの観点から継ぎ木杭の採用が有効といえる。

本講演では、小規模建築物の地盤調査に多用される SWS 試験に基づく地盤評価、継ぎ木杭の鉛直支持力の設計法ならびに設計上の考え方や施工上の留意点について述べるとともに、木杭基礎の適用に関する事例について紹介する。

※参加希望の方は 11/21（金）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地（公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

=====